

事務事業名	久保記念観光文化交流館管理運営事業			担当	産業環境部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		電話番号	83-8135		
施策名	4	観光の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H26 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	久保記念観光文化交流館は、「観光まちづくりの拠点」と位置づけ、真岡市観光の発信・誘客につながる施設としての整備を進め、平成26年10月に開館した。その後、指定管理者として、真岡市観光協会が運営している。指定管理期間は平成26年10月1日～平成31年3月31日						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 28年度実績 年度協定の締結及び指定管理料の支払い。指定管理者への指導。観光文化拠点施設として観光情報の発信及び定期的なイベントの開催。 29年度計画 年度協定の締結及び指定管理料の支払い。指定管理者への指導。観光文化拠点施設として観光情報の発信及び定期的なイベントの開催。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 指定管理料	千円		12,888	24,482	25,403	26,205
	イ						
	ウ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 久保記念観光文化交流館	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 久保記念観光文化交流館の敷地面積	?		1591.03	1591.03	1591.03	1591.03
	イ 久保記念観光文化交流館の建物数	棟		5	5	5	5
	ウ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 久保記念観光文化交流館を適正に管理し、観光文化拠点施設として観光情報を発信し、多くの人に来場してもらい観光の振興を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 久保記念館の入場者数	人		12,597	18,731	16,076	17,000
	イ 美術品展示館の入場者数	人		16,223	23,345	18,715	20,000
	ウ 観光物産館の入場者数	人		24,165	31,221	25,546	28,000
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 真岡市観光情報の発信を行うとともに、観光事業の推進と地域参加イベントを開催することにより、来訪する観光客の増加につなげる	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,842,333	2,865,281	2,865,612	2,912,127	2,940,000
	イ						
	ウ						

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	12,888	24,482	26,205
	人件費	正規職員従事人数	人	0	4	3	4
		延べ業務時間	時間	0	160	120	160
		人件費計(B)	千円	0	675	503	664
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	13,563	24,985	26,869

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成23年8月に久保邸の所有者を含む関係者から、久保邸は、明治期の歴史的建造物であることから、建物の保存を前提に譲渡したい旨の申し出があった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度に開始した事業である。 平成26年度（平成26年10月）に整備事業が完了し、観光文化拠点施設「久保記念観光文化交流館」として開館した。 「久保記念観光文化交流館」の管理運営について、真岡市観光協会を指定管理者に指定し、基本協定を締結した。久保邸内に観光協会の事務所を置いた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	市街地の観光拠点施設として観光客の増加を図り、地域活性化につなげてほしい。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 久保記念観光文化交流館は、本市の観光情報の拠点施設として、交流人口の増加を図る施設であり、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 久保記念観光文化交流館は市の施設であり、市が行うべき管理運営を、真岡市観光協会が指定管理者となり運営しており妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 久保記念館をはじめ、美術品展示館、観光物産館などの施設があり、真岡市の観光振興に寄与するので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 適切な施設の維持管理をおこなっているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 観光イベント情報の提供や観光まちづくりの拠点施設であるため
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営に係る必要最低限の経費であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営の委託事務で、人件費は最小限であり削減困難である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 入館料は無料であり、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							